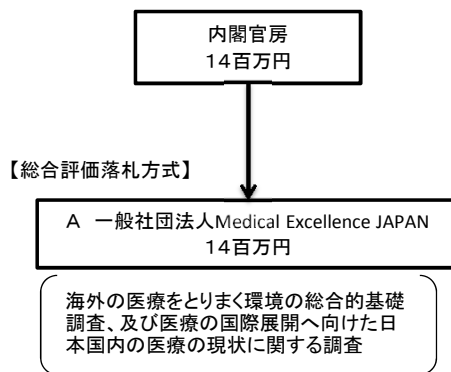


平成26年行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	健康・医療戦略経費		担当部局庁	内閣官副長官補	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・終了(予定)なし		担当課室	健康・医療戦略室	内閣参事官 阿久澤 孝			
会計区分	一般会計		政策・施策名	—				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略室の設置に関する規則 (平成25年2月22日内閣総理大臣決定)		関係する計画、 通知等	健康・医療戦略 (平成25年6月14日関係閣僚申合せ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療イノベーション(医薬品・医療機器や再生医療をはじめとする最先端の医療技術の実用化等)を促進し、国際競争力の高い関連産業を育成するとともに、その成果を国民の医療・健康水準の向上に反映させるための施策を集中的かつ計画的に推進するための検討に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際競争力の高い医療関連産業を育成するとともに、その成果としての医療を国民に提供するため、革新的な医薬品、医療機器及び再生医療、個別化医療の実用化等の検討に必要な基礎調査等を実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	34	16	21		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計		-	34	16	21		
	執行額		-	23	14			
執行率(%)		-	68%	88%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)
	調査を実施する事業のため、定量的な成果目標の設置は困難である。定性的な目標としては、本事業により、健康・医療戦略の着実な推進を図り、国際競争力の高い関連事業を育成するとともに、その成果を国民の医療・健康水準の向上に反映させる。			成果実績	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	委託調査の数			活動実績	-	調査:2本	調査:1本	—
				当初見込み	-	調査:2本	調査:1本	調査:1本
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	調査に必要な経費÷調査実施件数			単位当たりコスト	-	11,708,042円	14,712,600円	20,721,000円
				計算式	/	-	23,416,084/2	14,712,600/1
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	健康・医療戦略推進調査委託費	21						
	計	21						

事業所管部局による点検・改善							
	項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	高齢化が急速に進む社会において、国民の医療・健康水準の向上はニーズが高く、リスクの高い最先端の医療技術の実用化等に資する調査は国が実施すべきである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価落札方式を実施しており、資金の流れ、用途等の適正化の確保に努めた。単位当たりのコストが増加しているが、調査研究の対象が複雑かつ広範囲になっていることから、妥当な範囲である。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	国内外の先進事例、課題等を収集したことにより、調査結果は今後の施策や戦略の策定等に必要な有益な情報となった。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	他省庁における類似事業はなく、他省庁等と適切な役割分担になっている。			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検・改善結果	点検結果	医療国際展開を図るための基礎調査については、例えば、海外調査では一定の調査期間で単一の国だけでなく、周辺国・地域を含めて調査するなど、効果的・効率的な調査の実施となっている。					
	改善の方向性	今後とも効果的・効率的な予算の執行に努めていく。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
平成25年2月22日に医療イノベーション推進室が廃止となり、新たに健康・医療戦略室が新設され、事業を引き継いだため、平成25年度から事業名が変更となった。							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成23年	-	平成24年	新24-0001	平成25年	0007	

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位: 百万  
円)

A.一般社団法人 Medical Excellence JAPAN			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	新興国を中心として各国の状況に応じた医療国際展開を図るための基礎調査	14			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社) Medical Excellence JAPAN	新興国を中心として各国の状況に応じた医療国際展開を図るための基礎調査	14	1	95.3
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					